

競技・審判上の確認

競技委員長 田 中 淳
審判委員長 鈴木 和彦

1 競技規則について

- (1) 2019年度 公益財団法人 日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。ただし、ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。本大会はすべて3セットマッチとし、ワンボール・システムとする。ただし、準決勝戦および決勝戦はファイブボール・システムとする。
なお、大会使用球は、男子：モルテン製カラーボール「V5M5000」
女子：ミカサ製カラーボール「MVA300」とする。

2 チーム構成について

- (1) チームは監督・コーチ・マネージャー各1名・選手18名以内とし、試合毎に14名以内の選手をコンポジションシート（構成メンバー表）にエントリーする。なお、監督・コーチがともに外部指導者の場合は引率責任者を（校長が認める当該校の教員）届け出なければならない。
- (2) 参加申込書に記載された監督・コーチ・マネージャーの変更は、代表者会議終了後、ただちに競技委員長に届けなければならない。
- (3) 各試合のエントリーは、第1試合は試合開始30分前、第2試合以降は、前の試合の第1セット終了までに指定のコンポジションシート（構成メンバー表）に記入し、各会場の本部席まで提出する。試合が連続する場合は、試合終了後すみやかに提出する。尚、リベロ・プレーヤーは、コンポジションシート（構成メンバー表）の「選手名」欄と「リベロ・プレーヤー」欄の両方に記入する。
- (4) コンポジションメンバー（構成メンバー）とは、試合毎にエントリーされたメンバーである。

3 競技参加者について

- (1) 監督・コーチ・マネージャーは各1名、選手14名以内とする。監督・コーチは当該高等学校の教職員、マネージャーは当該高等学校の教職員もしくは生徒とする。ただし、監督・コーチがともに外部指導者の場合は、当該高等学校長および高体連バレーボール専門部長の承認を得なければならない。なお、引率責任者はベンチに入ることはできない。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーは、それぞれが左胸にマークをつけなければならない。
- (3) 監督はスコアラズテーブルに最も近い位置でチームベンチに座る。ただし、ラリー中であっても試合を妨げない、または遅延させない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアまでのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。主審に向かって左側にベンチがある場合、ラインジャッジ（L2）の判定に影響がある場所には立たないこと。
- (4) ベンチスタッフは、ネクタイ及びジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用する。Tシャツ等の襟のないものや、短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されない。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。

4 コートワイピングについて

- (1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間に行う。ただし、コンポジションメンバー（構成メンバー）以外の登録されたメンバーから最大2名までクイック・モップとしてベンチの両側に配置できる。1名の場合は監督席と記録席の間に配置しワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイック・モップは、モッピングが目的なので応援等はできない。
- (2) タイムアウト中、およびセット間については、クイック・モップが行う。クイック・モップがいない場合は、競技者あるいはベンチスタッフがモップを使って行っても良い。

5 リベロ・プレーヤーについて

- (1) リベロ・プレーヤーは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができない。
- (2) リベロ・プレーヤーは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。対照的な色でない場合、競技委員・審判委員の判断で、ベストを着用することがある。

- (3) 本大会は、アシスタント・スコアラーを参加チームが担当するので、交代する時はサイドライン上で一度、対になり立ち止まる。また、タイムアウト後は、前ラリーの状態に戻り、その後に交代する。
- (4) 正規の競技者とリベロ競技者については、以下のとおりです。
- ①登録12名の場合、リベロ競技者の人数は0名・1名・2名のいずれでも良い。
 - ②登録13名及び14名の場合、リベロ競技者の人数は2名でなければならない。

6 試合前の練習について

- (1) 第1試合の公式練習前のウォーミング・アップについて、第1試合のチームが優先的に各コートを使用する。第2試合以降のチームは、コート外でウォーミング・アップ等を行う。また、プロトコール10分前より、各コートの使用を第1試合のみとする。
- (2) 第2試合以降は、公式練習前の10分間に、ウォーミング・アップでネット・ボールを使うことができる。ただし、近接したコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置する。
- (3) 公式練習には構成メンバー以外の登録メンバーも、ボールキーパー（ユニフォーム以外のものを着用する）として練習に参加することができる。 ※ボールキーパーはコート外でボールを拾うことのみが許される。
- (4) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用して練習しているチームの妨げにならないよう、もう一方のチームはエンドライン後方のフリーゾーンまたは自チームベンチ前にてウォームアップを行う。

7 試合開始時刻について

- (1) 第1試合の開始時刻について
- | | | | |
|-----------|--------------|--------|------------|
| 11月13日(水) | 北海道立総合体育センター | A～Dコート | (11:00 予定) |
| 11月14日(木) | 北海道立総合体育センター | A～Dコート | (9:00) |
| 11月15日(金) | 北海道立総合体育センター | A～Dコート | (9:00) |
| 11月16日(土) | 北海道立総合体育センター | 特設コート | (9:00) |
- 第1試合のプロトコールは、上記開始時刻の11分前に行う。
- (2) 2試合目以降は、前の試合終了後10分間後にプロトコールを開始する。

8 その他

- (1) 本大会の補助役員は、参加チームにおいて、スコアラー1名、アシスタント・スコアラー2名、ラインジャッジ4名、点示2名の計9名で行う。
- ・11月13日(水)～15日(金)の第1試合は札幌協会生徒、第2試合以降は前試合の負けチームが行う。
 - ・11月16日(土)の準決勝・決勝は札幌協会生徒が行う。
- (2) 各チームの応援は、他の観戦者の妨げにならないよう配慮すること。
- (3) チームプラカードは、全試合使用とする。
- (4) 各競技会場の開場時刻、及び体育館内各コートの開場時刻（練習開始時刻）は以下の通り。
- | | | |
|-----------|--------------|------------|
| 11月13日(水) | 北海道立総合体育センター | (7:30) |
| | A～Dコート | (10:00 予定) |
| 11月14日(木) | 北海道立総合体育センター | (7:30) |
| | A～Dコート | (8:00) |
| 11月15日(金) | 北海道立総合体育センター | (7:30) |
| | A～Dコート | (8:00) |
| 11月16日(土) | 北海道立総合体育センター | (7:30) |
| | 特設コート | (8:00) |